

「東北の地域を考える」シンポジウム

# 『身近なお宝再発見』

～東北らしさを活かすために～

「東北圏広域地方計画」は、地方主体でまとめられた計画であり、今後10年間の東北圏のあり方と、国土の利用・整備保全、産業形成等の政策全般の方向性を示すものです。東北大学では、この計画の実現が研究活動の推進に直結するという考えから、計画の具体化と実現化を支援する活動が始まりました。

東北圏広域地方計画協議会は、その活動のスタートを記念するシンポジウムを合同で開催することとしました。

開催日時

平成22年 2月27日(土)

13時00分～17時00分(開場12時30分)

開催場所

ホテルメトロポリタン仙台  
3F：曙

仙台市青葉区中央1丁目1番1号

開催概要

基調講演

テーマ 「地域の宝を活かしてつくる新たな国土」

奥村 誠氏 <東北大学教授>

テーマ 「東北の歴史に探る未来の宝」

平川 新氏 <東北大学教授>

パネルディスカッション

テーマ 「東北らしさを活かすために」

◆コーディネーター

森杉 壽芳氏 <東北大学教授>

◆パネリスト

泉田 十太郎氏 <けせんプレカット事業協同組合 専務理事>

大原 久治氏 <雪国植物園 園長>

佐藤 良吉氏 <横手市 建設部長>

島津 憲一氏 <三宿地域連携協議会 事務局長>

奥村 誠氏 <東北大学教授>

平川 新氏 <東北大学教授>

会場のご案内

※公共交通機関をご利用下さい。



ホテルメトロポリタン仙台

● お問い合わせ先 ●

東北圏広域地方計画推進室

TEL.022-213-8067(直通)

Eメール kou-suishin2@thr.mlit.go.jp

入場無料  
定員250名

参加の申し込みが必要です。  
詳しくは裏面をご覧ください。

主催：東北圏広域地方計画協議会、東北大学土木工学グループ、東北大学防災科学研究グループ

共催：(財)建設工学研究振興会

後援：東奥日報社、岩手日報社、河北新報社、秋田魁新報社、山形新聞社、福島民報社、福島民友新聞社、新潟日報社、(予定) 日刊建設工業新聞社東北支社、日刊建設産業新聞社東北支社、日刊建設通信新聞社東北支社、建設新聞社、観光経済新聞社、交通新聞社、NHK 仙台放送局、(財)東北開発研究センター、(財)東北産業活性化センター、東北観光推進機構

# 『身近なお宝再発見』 ～東北らしさを活かすために～



## ● 開催目的

現代社会では、地域から地球にいたる様々な規模の問題が露呈している。それらの解決には、地域の自然や風土を深く理解した取り組みが不可欠である。

東北地方は、明治維新以降、「一山百文」などと揶揄され、「未開の大地」という誤ったイメージが植え付けられて、固有の自然や風土等を活かした古くからの様々な風習や様式等が打ち捨てられ、忘れ去られつつある。しかし今、東北の原点に立ち返り、「東北らしさ」を活かした取り組みを再発見する中から、世界の問題解決に糸口が見つかる可能性が大きい。

東北地方の持つ個性を世界に通用する「お宝」として活かし、次世代の世界を先導する地域にしていくことを目指して、「東北らしさ」とは何かを議論する。

## ■ 基調講演

Keynote speech

● テーマ  
**地域の宝を活かしてつくる  
新たな国土**



● 講演者 **奥村 誠氏**  
おくむら まこと  
東北大学教授  
東北アジア研究センター  
兼 工学研究科土木工学専攻

● テーマ  
**東北の歴史に探る  
未来の宝**



● 講演者 **平川 新氏**  
ひらかわ あらた  
東北大学教授  
東北アジア研究センター

## ■ パネルディスカッション

Panel discussion

テーマ  
**東北らしさを  
活かすために**

● コーディネーター

● パネリスト

 <b>泉田 十太郎氏</b> いずみだ じゅうた ろう けせんプレカット事業協同組合 専務理事	 <b>大原 久治氏</b> おおはら きゅうじ 雪国植物園 園長
 <b>佐藤 良吉氏</b> さとう りょうきち 横手市 建設部長	 <b>島津 憲一氏</b> しまづ けんいち 三宿地域連携協議会 事務局長
 <b>奥村 誠氏</b> おくむら まこと 東北大学教授	 <b>平川 新氏</b> ひらかわ あらた 東北大学教授

  
**森杉 壽芳氏**  
もりすぎ ひさよし  
東北大学大学院  
経済学研究科 教授

## 参加申し込み方法

2月15日(月)までに、必要事項を記入の上、FAXもしくはEメールで下記窓口までお申し込み下さい。  
なお、参加希望者多数の場合は、定員になり次第締め切らせていただきます。

参加申し込み必要事項			
個人名・法人名		参加人数	名
担当者名(法人の場合)		電話番号	— —

## 窓口(送信先)

## 東北圏広域地方計画推進室 行

●ファックスの方は、上記枠内に必要事項を記入し、この用紙のまま下記の番号までお送り下さい。  
●Eメールの方は、メール本文に上記必要事項を記載し、下記のアドレスまで送信下さい。

FAX.022-266-0024

E-mail kou-suishin2@thr.mlit.go.jp